

1. 科目名 ( 単位数 )	心理学を活かしたキャリアマネジメント ( 2 単位 )	3. 科目番号	PSMP2102
2. 授業担当教員	成本 忠正		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学を活かしたキャリアデザインを履修していること。		
7. 講義概要	心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。本科目では、1年次に開講されている「心理学を活かしたキャリアデザイン」において学んだことを踏まえて、心理学を活かした将来展望やキャリア形成について、より実践的に考える。特に資格取得を想定している場合は、資格を活かして働く自分をイメージし、実現するためには何を成すべきかについて整理する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学の汎用性を活かした多様なキャリアを具体的にイメージできるようになる。</li> <li>2. 多様なキャリアの中から、自分の強みを生かせるキャリアを探すことができるようになる。</li> <li>3. 将来、自分が働いている姿について具体的なイメージを形成し、実現していくアクションプランを立てることができるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各授業内容に関するワークシートやレポートを作成する。</li> <li>2. グループでのリサーチ発表をする。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 特になし。 <b>【参考書】</b> 宮城まり子『心理学を学ぶ人のためのキャリアデザイン』東京図書		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業やレポートを通して以下の4点について、理解を深めたかどうかを評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分が目指したい業種・職種を明らかにする。</li> <li>2. 就職活動はどのような手順で進められるのかについて理解できる。</li> <li>3. 社会人としてのマナーを理解し、実践できるとともに働くために必要な人間関係スキルについて理解し、実践することができる。</li> <li>4. 働く人のメンタルヘルスについて理解できる</li> </ol> ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢40%、試験及び課題レポート60%で判断する。		
12. 受講生へのメッセージ	社会人となる日も決して先ではありません。自分の人生をどのように歩んでゆくのか。それを考える時間は必ずしもたくさんあるわけではありません。今の自分もすでに社会人であることを意識しながら授業に参加してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.積極的に質問をしてください。また、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。</li> <li>2.特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時の無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。</li> <li>3.授業中の私語および携帯電話の使用は厳禁とします。</li> <li>4.初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初回の授業に出席してください。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回授業にて説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス ( 諸注意、評価方法などの説明 )	事前学習	シラバスの講義概要と学習目標を読んでおく。
		事後学習	目標とする将来の職業について深く考える。
第2回	日本のキャリアシステム ( 終身雇用・年功序列・日本の経営 )	事前学習	日本のキャリアシステムの特徴について調べる。
		事後学習	講義内容を振り返り、事前にまとめた要点を修正する。
第3回	組織が大学生に期待すること	事前学習	自分が働きたいと思っている職場(一般企業、役所、病院、施設等)が大学生に期待することについて調べる。
		事後学習	大学での学びを職場で活かすための具体策を考える。
第4回	期待に応えるために準備しておくこと	事前学習	大学で何を向上させておくべきかを考える。
		事後学習	職場が望む能力について理解をする。
第5回	自己理解 ( 働くことの価値観 )	事前学習	働くことへの価値観について考えておく。
		事後学習	授業内容をもとに働くことへの価値観について考察する。
第6回	これまでのまとめ ( 論述テストの実施 ) リサーチ発表について	事前学習	テストの準備をしておく。
		事後学習	これまでの授業内容を振り返り、復習する。
第7回	リサーチ発表のためのグループワーク	事前学習	配布された発表課題についてアイデアを考えておく。
		事後学習	リサーチ発表の内容について各グループで話し合う。
第8回	リサーチ発表のためのグループワーク	事前学習	次回のグループワークまでに各自ができることをする。

